

2月14日(月)イブニングラウンジの開催について

本学客員教授 深澤直人様によるご講演

叡啓大学では学生のコンピテンシー育成及びキャリア形成支援の一環として、「イブニングラウンジ」を開催することとしています。2月のイブニングラウンジでは、日本を代表する優れたプロダクトデザイナーであり、本学の客員教授でもある深澤直人様をお招きし講演いただきます。

叡啓大学は地域に開かれた大学として、イブニングラウンジの参加者を学生と教職員に限定せず、どなたでもご参加いただけるよう開放いたします。ぜひご参加ください。 【講師の深澤直人様】

【日時】2月14日(月)17:10~18:40

【開催方法】オンライン会議システム「ZOOM」のみ

【対象者】叡啓大学の学生、教職員並びに学外の方

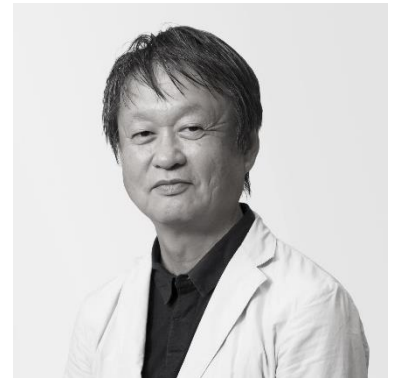
【定員】100名(申込み多数の場合は先着順となります。)

参加不可の場合のみ、その旨通知いたします。)

【講演者】深澤直人 / プロダクトデザイナー

【講演タイトル】「美しい考え方」

【講演概要】適正価値の創出についてご講演いただきます。



【講演者経歴】

1956年山梨県生まれ。1980年、多摩美術大学プロダクトデザイン学科卒業。同年セイコーエプソン入社。先行開発のデザインを担当。1989年渡米し、ID Two (現 IDEO サンフランシスコ)入社。シリコンバレーの産業を中心としたデザインの仕事に7年間従事した後、1996年帰国。IDEO 東京オフィスを立ち上げ支社長として日本のデザインコンサルタントのベースをつくる。2003年独立し、NAOTO FUKASAWA DESIGN を設立。

現在は、イタリア、ドイツ、アメリカ、スイス、スペイン、中国、韓国、タイ、台湾、シンガポール、フランス、ポルトガル、スウェーデン、フィンランドなど世界を代表するブランドのデザインや、日本国内の企業のデザインやコンサルティングを多数手がける。日用品や電子精密機器からモビリティ、家具、インテリア、建築に至るまで手がけるデザインの領域は幅広く多岐に渡る。

人の想いを可視化する静かで力のあるデザインに定評があり、「行為に相即するデザイン」「意識の中心」「ふつう」「輪郭」「典型」など、自らのデザイン哲学をこれらの言葉で表わすとともにデザインの具体を通してその実践を続ける。デザインのみならず、デザインを通して対象の本質にせまる力、その思想や表現などには国や領域を超えて高い評価を得ている。

人間の意識していないときの行動の中にデザインのきっかけがあることを見出し、それを「Without Thought(思わず)」と名付けた。1999年からはその名を使ったデザインワークショップを毎年開催し、書籍とともに発表を続けている。

日本民藝館館長。多摩美術大学統合デザイン学科教授。21_21 Design Sight ディレクター。良品計画デザインアドバイザーボード。マルニ木エアートディレクター。日本経済新聞社日経優秀製品・サービス賞審査委員。毎日デザイン賞選考委員。2006年 Jasper Morrison と共に「Super Normal」設立。2010年~14年グッドデザイン賞審査委員長。2012年 Braun Prize 審査委員。2017年 LOEWE クラフトプライズ 審査委員。ロイヤルデザイナー・フォー・インダストリー(英国王室芸術協会)の称号を持つ。2018年、「イサム・ノグチ賞」を受賞。

【申込方法】以下の URL 又は QR コードより申し込みフォームにアクセスし、2月10日(木)17時までにお申し込みください。なお、参加用の ZOOM リンクは2月14日(月)にメールにてお送りします。

※こちらは学外者専用の申込フォームです。

学内の方は My eikei 掲載の申込フォームからお申し込みください。

URL: <https://forms.gle/58AAN5tkoBczQLr67>

QR コード:

